

# 演劇人19% 「廃業の可能性」

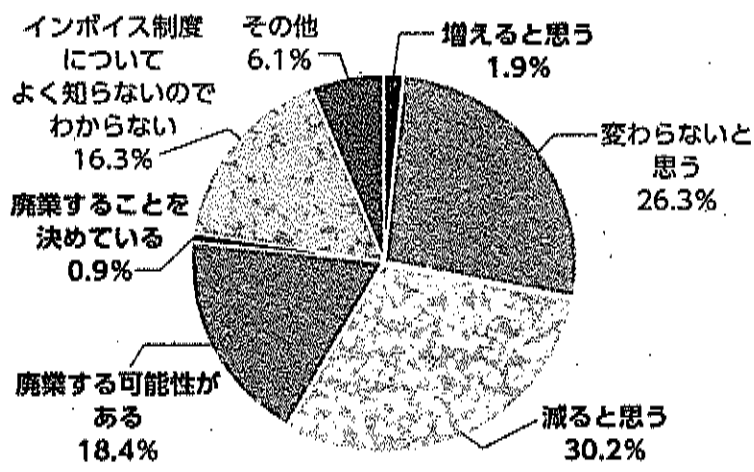
## インボイス導入

消費税のインボイス（適格請求書）制度にかかわって、演劇関係者を対象にしたアンケートの結果が公表されました。19・3%が、インボイスが導入されれば「廃業する可能性がある・廃業することを決めた」と回答。この間、声優、アニメ、漫画とエンタメ業界に携わる人たちがそれぞれ取り組んできた実態調査と同様に、深刻な結果が出ています。

調査は、「インボイス 全体の72・3%が、フ制度を考える演劇人の リーランスや個人事業主会」が実施しました。期として仕事をしており、間は、10月14日～11月16 68・6%がアルバイトな日まで。577件の回答 どで「演劇以外の収入が寄せられ、俳優や劇作 ある」と答えています。家、音響や手話通訳士な インボイス制度が導入ど、演劇に携わっている されたら、演劇業界にお50を超える職種の人が回 けるあなたの仕事が「減答しました。 ると思う」は30・2%

## 50超の職種 回答577件

2023年10月にインボイス制度が導入されたら、演劇業界におけるあなたの仕事はどうなると考えますか？



「廃業する可能性がある」は18・4%、「廃業する」は0・9%、「よく知らないのわからない」は16・3%、「増えると思う」は1・9%、「変わらないと思う」は26・3%、「減ると思う」は30・2%、「その他」は6・1%でした。ライターなどフリーランス（音声での配信ができ

る機能）に、同会のメンバーが出演してアンケートの特徴などを語りました。

劇作家の丸尾聡さんは、演劇だけで生活ができてくる演劇人は、とりわけ若い人のなかではほとんどおらず、苦しいなかでも10年以上続けて才能が花開く人も少なくないと指摘し、「インボイスが、演劇を続けるかどうかの判断に割り込んできてしまっています」と述べました。

その上で、他のエンタメ業界と比べても、演劇には多様な職種がかかわっているとのべ、「コロナ禍で大打撃を受けているなか、インボイスは業界の先細りをさらに促進させてしまう。導入中止のために、みんなで声をあげていきたい」と語りました。



12/8 五曜

# 「緩和」でなく「中止」を

## STOPPーインボイスが声明

フリーランスで働く人たちの有志でつくる「インボイス制度を考えるフリーランスの会」(STOPPーイン

ボイス)は5日、「『緩和措置』ではなく『インボイス制度の『中止』を」と題する声明を発表しました。

来年10月からの導入が狙われているインボイスにかかわって政府・与党は、現在年収1000万円以下の免税事業者の人たちが課税事業者に転換した場合、3年間は納税額を売り上げにかかるとする税の2割を上限とする

など二つの「激変緩和措置」を発表しました。声明では、政府・与党による「緩和措置」は、もともと複雑な制度をさらに複雑にしたうえで、「当事者が被る不利益を回避するものにもなっており、

事業者にとって抜本的な解決とはおよそいえない」と指摘。「現役世代、そして未来の働き手が安心して仕事と生活を維持するため、『緩和』ではなく、『インボイス制度の『中止』を一貫して求める」と述べています。